



## 校章の由来

“中”の中央と両端の上向きの上向きの剣状の形はペンを表し、学業にいそしむことを象徴し、Uは内海府中学校の頭文字Uを図案化するとともに、“中”の中心は、まっすぐに成長してほしいとの願いを表している。

昭和29年1月18日制定  
(故老談)

## 内海府中学校校歌

♩=84

高昌 孝 作詞  
坪井定一 作曲

1 み よ そ ら た か く かう ぜ す が し  
2 あ い あ く ま も し わ か ろ く かい み あ お し  
3 い ざ ま ゆ こ の な さ と とち かい ぜ す が し  
う ま し こ の な さ と とち かい ぜ す が し  
う ま し こ の な さ と とち かい ぜ す が し  
さ さ わ な る や ま の さ さ ち の ご と  
き わ わ な る や ま の さ さ ち の ご と  
お お え わ る や ま の さ さ ち の ご と  
え ま い ち の の い ん ず み も と と め な ん  
ま こ こ う の の ほ ま れ た た め ゆ え な な ん

## 内海府中学校校歌

作詞 高昌 孝  
作曲 坪井定一

一 みよ空高く 風清し

うましこの里 風清し

さわなる山の 幸のごと

叡智の泉 求めなむ

二 ああ雲白く 海青し

うましこの土地 海青し

さわなる海の 幸のごと

真実の望み 求めゆかむ

三 いざ眉若く 意気高し

うまし学びや 意気高し

きほえわが友 声あげて

母校の誉れ 讃えなむ

## 学校の周囲の概観

当校の学区は、佐渡市の北端に位置し、佐渡一周線（県道45号線）に沿った海岸に虫崎、北小浦、見立、鷺崎、藻浦、榊原、願、北鶴島、真更川の9集落が25km余りにわたり、細長く点在している。

近年は、沿岸漁業の不振や学卒者の離島傾向などに伴い、児童生徒数の減少が著しく典型的な過疎地域になっている。これらの各地区の産業は農業と漁業が主であるが、特に、漁業への依存度が高い。地域の中心である鷺崎漁港は、第四種漁港として近海漁業基地への発展の可能性を秘めており、近年は寒ぶりがブランド品となっている。また、春のマグロ漁も盛んである。

昭和59年5月からの外海府バス路線の開通による交通網の整備に伴い、昭和62年3月には内海府線に黒姫大橋が開通し、市街との往復も一段と便利になった。

平成20年12月には黒姫虫崎間の内海府トンネルが完成し、市街までの時間はさらに短縮し、交通の面ではますます便利になってきている。

しかし、海岸と崖に挟まれた道路は、高波や落石の危険があり、通行止めも年に数回起こり得る地域である。迂回路は林道しかなく、冬期間は積雪により使用できないこともある。そのため、集落間が不通になり、登下校に支障をきたす。

学区内には医療機関が無く、緊急を要する病気やけがなどの場合には、市街まで行かなければならないなどの問題もある。平成19年4月、海府分遣所が鷺崎に設置されたことで、救急体制は整備された。

地域の方々は、学校教育には極めて協力的で、物心両面にわたる援助を惜しまない。公民館・PTA・地域子ども会等の社会教育活動にも熱心に参加している。特に、地域興しに力を注いでおり、夏にはカンゾウ祭り、冬には寒ブリ大漁祭り、また鬼太鼓の保存のために通年で子どもたちに指導を行っている地域もある。

子どもたちは、互いに支え合い、協力的である。学習活動には真面目に取り組み、基礎的・基本的な学力はもちろんのこと、応用的な力も身につけており、学力的には佐渡市をリードするくらいになっている。問題を自ら解決しようとする力や、自分の考えを進んで表現しようとする力に弱さが見られるが、恵まれた地域や自然環境を生かし、人とかかわりを深める体験活動を大切に教育活動を展開している。中学生はガイドボランティアに取り組み、観光で訪れた人たちに海府地区の自然や産業をガイドし紹介している。

体力的にも陸上大会や部活動、地域の大会で多くの入賞を果たすなど、近年の活躍はすばらしいものがある。

地域の方々も、自分なりのめあてや自分の考えをしっかりともち、積極的・意欲的に生活する態度や進んで運動する姿を子どもたちに期待している。

# 校区の略図

